

## スペイン語

高垣 敏博

- (1) a. 彼はそのハエを殺した。 b. 彼はその箱を壊した。 c. 彼はそのスープを温めた。  
d. 彼はそのハエを殺したが、死ななかった。(発話可能かどうか?)

- (1) a. Él mató la mosca.  
He killed the fly  
b. Él rompió la caja.  
He broke the box  
c. Él calentó la sopa.  
He warmed the soup  
d. \*Él mató la mosca, pero no murió.  
He killed the fly, but (it) did not die

時制はどれも現在完了でも書けるが、単純化するために点過去(完了過去)を用いた。(1d)は発話不可能である<sup>1</sup>。

- (2) a. 彼はそのボールを蹴った。 b. 彼女は彼の足を蹴った。  
c. 彼はその人にぶつかった(故意に)。 d. 彼はその人にぶつかった(うっかり)。  
(2) a. Él pegó [golpeó / pateó] el balón. / Él le dio una patada al balón.  
He kicked the ball He to it gave a kick to the ball  
b. Ella le dio [pegó] una patada en el pie.  
She to him gave a kick on the foot  
c. Él se tiró [se lanzó / se arrojó] contra el chico.  
He threw himself against the boy  
d. Él se chocó con [contra] el chico.  
He collided with the boy

(2c)で意図的にぶつかった場合には意志性のある他動詞(tirar, lanzar, arrojarなど)どれも「投げる」の意味を再帰形にする。また非意図的にぶつかる場合にはchocar「ぶつかる」の再帰形(相互再帰の用法と思われる)を用いる。

<sup>1</sup> スペイン語訳はスペイン出身の同僚 Txabi Alastruey 氏のチェックを受けたものである。

- (3) a. あそこに人が数人見える。 / I see some people there. b. 彼はその家を見た。  
c. 誰かが叫んだのが聞こえた。 / I heard somebody cry out. d. 彼はその音を聞いた。

(3) a. Se ven algunas personas ahí.<sup>2</sup>

Are seen some people there.

b. Él vio [miró] la casa.

He saw (looked at) the house

c. Se oyó gritar a alguien.

One heard cry out (to) someone

d. Él escuchó el sonido.

He heard (listened to) the sound

スペイン語では、oír「聞く、聞こえる」、ver「見る、見える」も escuchar「傾聴する」、mirar「眺める」もともに他動詞で、前置詞を伴わないので、形式上の区別はない。(3a)の se はいわゆる se 受動文(再帰の受動文)で、algunas personas が主語になる。(3c)は知覚構文で英語などと類似する。ただし<Se+動詞 3 人称単数形 oyó>はいわゆる不定人称構文で「人は～を聞いた」の意味を表す。

- (4) a. 彼は(なくした)鍵を見つけた。 b. 彼は椅子を作った。

(4) a. Él encontró la llave.

He found the key

b. Él hizo la silla.

He made the chair

「被動目的語 (affected object)」も「達成目的語 (effected object)」も区別されない。

- (5) a. 彼はバスを待っている。 b. 私は彼が来るのを待っていた。  
c. 彼は財布を探している。

(5) a. Él está esperando el autobús.

He is waiting (for) the bus

b. Yo le estaba esperando. / Yo estaba esperando a que viniera.

I him was waiting I him was waiting that (he) came

c. Él está buscando la cartera.

He is looking (for) the wallet

3 文ともに他動詞+目的語構文。「ている」に応じて、現在進行形に訳す。(5b)の最初の文

<sup>2</sup> (3a)の英語と同じ Yo veo algunas personas ahí. も可能であるが、より自然な表現を挙げた。

は単純に彼を直接目的語(1e)とした他動詞文. 第二の文では <esperar a que +接続法> 「Xが～するのを待つ」の表現を用いている.

- (6) a. 彼はいろいろなことをよく知っている.    b. 私はあの人を知っている.  
c. 彼には××語 (ドイツ語, 中国語, ...) がわかる.

- (6) a. Él lo sabe de todo.

He know everything

- b. Yo le conozco.

I him know

- c. Él sabe español.

He knows Spanish

スペイン語の「知る」には *saber* と *conocer* の二つの動詞が対応する. *saber* の方は知識, 情報などを「もつ」意味の「知る」で, (6a)で用いられるのが基本的意味. *lo...todo* は「どんなものでもすべて」の意味. *conocer* は人や土地などになじみがある, また情報などについても精通している意味(6b)がある. ただ, *saber* には(6c)の「言葉が話せる」のように体得した能力も表わす (例, *sabe nadar / conducir / tocar la guitarra* 「彼は泳げる, 運転できる, ギターが弾ける」).

- (7) a. あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか?  
b. 私は彼の電話番号を忘れてしまった.

- (7) a. ¿Se acuerda usted de lo que le dije ayer?

Do you remember (of) what I said to you yesterday?

- b. Se me ha olvidado su número de teléfono.

I have forgotten his telephone number

「覚える, 思い出す」は他動詞 *recordar*, もしくは他動詞の再帰形 *acordarse de~*を用いる (反使役化して, 前置詞 *de*+目的語となる). 「忘れる」には, *olvidar* +直接目的語, *olvidarse de*+目的語, (7b)であげた *olvidarse* + 間接目的語の3通りの表現がある. 「電話番号」 *su número de teléfono* が主語で *olvidarse* は他動詞 *olvidar* が自動詞化し, 与格人称代名詞 *me* (私に) が挿入され, これが間接影響を受けるという解釈になる. 「忘れる」行為に関して最も, 被影響性が感じられると言われる.

- (8) a. 母は子供たちを深く愛していた.  
b. 私はバナナが好きだ.    c. 私はあの人を嫌いだ.

(8) a. La madre amaba [quería] profundamente a sus hijos.

The mother loved profoundly her children

b. Me gustan los plátanos.

To me please (the) bananas.

c. Odio a ese hombre.

(I) hate the man

他動詞は特定有性の直接目的語には前置詞 *a* を伴うので、「愛する」のような動詞 *amar*, *querer* でも前置詞 *a* を伴う。「好む」はスペイン語では、(8b)のように、嗜好の対象 *los plátanos* が主語、主体の「私」*me* が間接目的語（与格人称代名詞）の構文をとる。「嫌う」は他動詞 *odiar* が一つの構文となるが、(8b)タイプの *caer mal a*+間接目的語「気に食わない」もある（*Me cae mal ese hombre*）。このとき *ese hombre* 「その男」は形式上、動詞の主語で、*私* は間接目的語の *me* となる。

(9) a. 私は靴が欲しい。 b. 今、彼にはお金が要る。

(9) a. Quiero unos zapatos.

(I) want (some) shoes

b. Ahora mismo necesita dinero.

Now he needs money

ともに他動詞 *querer* 「欲する」、*necesitar* 「必要とする」を用いる。

(10) a. (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている。

b. 彼は犬が怖い。

(10) a. Mi madre está enfadada porque mi hermano ha mentado. /

My mother is mad because my brother has lied /

A mi madre le da rabia que mi hermano haya mentado.

To my mother (to her) gives anger that my brother has lied

b. Él teme a los perros. / Él les tiene miedo a los perros.

He fears (the) dogs He to them has fear of (to the) dogs

(10a)で、「怒る」は他動詞の再帰形 *enfadarse* を用いるが、「怒っている」状態を表すのには動詞を過去分詞にし、コンピュータの *estar* と組み *estar enfadado(a)*にする。あるいは *dar rabia* + 間接目的語の表現（～に怒りを与える）を用いる方法もある。原因になる「嘘をついたこと」は接続法になる。(10b)の「恐れる」は他動詞の *temer*+直接目的語、あるいは、名詞の「恐れ」*miedo* を用いることもできる。その対象 *los perros* は間接目的語となる。

(11) a. 彼は父親に似ている。 b. 海水は塩分を含んでいる。

(11) a. Él se parece a su padre.

He looks like his father

b. El agua de mar contiene sal.

(The) seawater contains salt

「～に似る」は *parecerse a* と再帰動詞を用いる。「含む」 *contener* は状態の他動詞。

(12) a. 私の弟は医者だ。 b. 私の弟は医者になった。

(12) a. Mi hermano es médico.

My brother is doctor

b. Mi hermano se hizo médico.

My brother made himself doctor

職業、身分などを表すコピュラは *ser* で、英語のように不定冠詞（スペイン語では *un, una*）を伴わない。「～なる」は一般に *hacerse* ～と再帰動詞を用いる。

(13) a. 彼は車の運転ができる。 b. 彼は泳げる。

(13) a. Él sabe conducir.

He knows driving

b. Él sabe nadar.

He knows swimming

すでに(6c)でふれたが、「知る」の意味をもつ *saber* を助動詞のように用いる。いずれも習得によって得られた能力について用いる。

(14) a. 彼は話をするのが上手だ。 b. 彼は走るのが苦手だ。

(14) a. Él habla bien. / Se le da bien hablar

He talks well / itself-to him-gives well running (He is good at running)

b. No se le da bien correr.

He not runs well / it takes a lot to run / He is not good at running

(14a)の「上手」の自然な表現は動詞を現在時制のままにして、恒常の意味を出す方法であろう。動詞によっては *Él canta bien*。「彼は歌がうまい」を名詞表現にして、*Él es un buen cantante*。「彼は上手な歌手だ」のように言い換えることもできる。また慣用表現 <*dársele bien a* ~ + 主語>の構文を使うこともできる。*le* の与格人称代名詞(彼に)で主体を表す。

(14b)の「～が苦手」も動詞の現在時制、*dársele bien* の否定形を用いる。

(15) a. 彼は学校に着いた。 b. 彼は道を渡った／横切った。 c. 彼はあの道を通った。

(15) a. Él llegó a la escuela.

He got to the school

b. Él cruzó la calle.

He crossed the street

c. Él pasó por aquella calle.

He went along that street

「着く」は自動詞 llegar が着点を表す前置詞 a を伴う。「渡る、横切る」については他動詞 cruzar が一般的。また道を通るように経路を表す場合は pasar 「通る」が前置詞 por を伴い pasar por となる。

(16) a. 彼はお腹を空かしている。 b. 彼は喉が渇いている。

(16) a. Él tiene hambre.

He has hunger

b. Él tiene sed.

He has thirst

所有の他動詞 tener+ <hambre 空腹, sed 渇き> の名詞の組み合わせで表現する。この他、「眠い」 tener sueño (眠気 sueño をもつ)、「歯が痛い」 tener dolor de dientes (歯痛 dolor de dientes をもつ) などもある。

(17) a. 私は寒い。 b. 今日は寒い。

(17) a. Tengo frío.

(I) have cold (I am cold)

b. Hoy hace frío.

Today (it) makes cold (It is cold)

自分を主体に表現する(a)では他動詞 tener 「持つ」+frío 「寒さ」で表わすが、気候の場合には、いわゆる無人称表現となり、他動詞 hacer 「する、作る」の3人称+frío で表現する。

(18) a. 私は彼を手伝った／助けた。 b. 私は彼がそれを運ぶのを手伝った。

(18) a. Yo le ayudé.

I him helped

b. Yo le ayudé a llevarlo.

I him helped to carry it

ともに相手は対格である。(b)では、相手の行為は前置詞 a +不定詞で表わされる。

(19) 私はその理由を彼に訊いた。 b. 私はそのことを彼に話した。

(19) a. Yo le pregunté por qué [la razón].

I him asked why [the reason]

b. Yo se lo conté. / Yo le hablé de eso.

I to him it told / I to him talked about that

「訊ねる」では、相手は与格、理由は対格になる。「話した」は、動詞によるが、他動詞 contar「語る」を用いると、「彼に」は与格 se (< le), 「そのこと」は対格になり、自動詞 hablar「話す」では、「彼に」は与格 le, 話す内容は前置詞 de の目的語 eso「そのこと」(中性の指示詞)になる。

(20) 私は彼に会った。

(20) Yo le vi.

I him met

他動詞 ver「見る、会う」が対格の人称代名詞(le または lo)をとる。